

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター

琵琶湖水質担当

昭和54年8月16日

第18報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Aphanothece clathrata*</i>	80		
(藍) <i>Anabaena macrospora*</i>	280		○
(藍) <i>Phormidium tenue*</i>	60		
(藍) <i>Lyngbya limnetica*</i>	1940	○	
(珪) <i>Nitzschia</i> sp.	80		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	120		
(緑) <i>Oocystis</i> sp.	40		
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	7680	◎	◎
(緑) <i>Scenedesmus quadricauda</i>	20		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	20		
(藍) 藍藻綱	2360	22.9	21.5
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	80	0.8	0.2
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	120	1.2	1.9
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	7760	75.2	76.5
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	10320	総体積	1.09E+07
種類数	10	(μm^3)	

注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)

ただし*印の種は群体数(群体/ml)

注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種

数字は各綱ごとの占有率(単位:%)

注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から

試験的に推定した概算値である。

植物プランクトン優占種

第1優占種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Pediastrum biwae</i>	7680

第2優占種		細胞数 (細胞数/ml)
藍藻綱	<i>Lyngbya limnetica*</i>	1940

植物プランクトン第1優占種



Pediastrum biwae
(ピワクンショウモ)
緑藻綱

16, 32, 64細胞からなる群体を形成する。各細胞は1本の角状突起を持ち、突起同士が対をなすのが特徴である。琵琶湖の固有種とされ、ピワクンショウモと呼ばれている。

植物プランクトン第2優占種



Lyngbya limnetica
(リングビア)
藍藻綱

糸状体を形成し、細胞は細いサヤの中に入っている。見逃しやすい種である。